

シラバス参照

④ 科目区分	学部演習
④ 科目名	国際関係論演習 I
④ 曜日・講時	前期 金曜日 4講時 その他 前期 金曜日 5講時 その他
④ 単位数	2
④ 担当教員	戸澤 英典
④ 実務・実践的授業 ※○は、実務・実践的授業であることを示す。	
④ 授業形態	演習
④ 週間授業回数	2回隔週
④ 配当学年	2,3,4年
④ 対象学年	-
④ 科目ナンバリング	-J
④ 使用言語	日本語
④ 備考	

④ 実施方法 (対面・リアルタイム・オンデマンド・ハイブリッド等)	対面
④ 連絡方法とクラスコード	授業の連絡及び講義資料等の配信は、Google Classroomを使用して行う。 クラスコード : uvtfb7
④ 初回授業日等	4月22日(金) ※それ以前に下記の説明会を行うので必ず出席すること。
④ 授業題目	国際関係論演習 I
④ 授業の目的と概要	この演習では、現代の国際社会で発生する様々な問題に対する分析能力の涵養を目指して、国際関係論の重要トピックに関する文献・資料を読みすすめる。前期の演習では、現在進行中であるロシアによるウクライナ侵攻および新型コロナウイルスによる世界政治の影響を中心に、最新の研究文献や現状分析を読み解く。その際、「ポストコロナの世界」を形づくる諸要因——中国の習近平体制やロシアのプーチン体制など権威主義体制の強まり、バイデン米政権の動向、パンデミック／難民対策にあたる国際機関のあり方、国際・国内で広がる格差——にも目を向けることとなる。
④ 学修の到達目標	世界政治の重要トピックに関する理解。外国語および日本語の文献および資料読解能力。
④ 授業内容・方法と進度予定	隔週の授業では、上記のトピックに関する内外の文献を集中的に講読する。さらに、最新の状況に関する報道や論評等も各自に報告してもらいながら授業を進める。
④ 成績評価方法	授業中の報告および平常点で評価。
④ 教科書および参考書	講読する文献および参考文献については開講時に指定する。
④ 授業時間外学修	授業前は指定文献を講読し、割り当てのものについてはレジュメを作成すること。授業後は、各自の関心事項を発展的に深めるべく、関連文献に当たること。
④ その他	履修希望者は4月8日(金)4限／4月15日(金)4限の時間帯に行う説明会のどちらかに参加すること。 大学院演習と合併。
④ 更新日付	2022/03/25 11:21

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間に授業および授業時間外学修(予習・復習など)30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15～0時間です。

One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside of class. In laboratory, practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of class.